



三富平地林で清々しい空気を  
吸ってみませんか！

## 令和4年度のイベントについて

令和4年度もコロナ禍ではありましたが、感染対策を実施し、多くのイベントを開催することが出来ました。裏面に、まだ参加できるイベントをご紹介します。ご参加をお待ちしております。

### 第12回「農」と里山シンポジウムを開催しました。

令和4年10月8日(土)に三芳町文化会館(コピスみよし)で、獨協大学教授・経済アナリストの森永卓郎氏を講師に迎え、「農業との関りで楽しく、安心して、豊かな生活を！」と題した講演に、県内外から約330名が参加されました。

グローバル資本主義を主体とした経済活動は地球環境の崩壊、所得格差の拡大を招き、行き詰まりを向かえているといった話から、自身の農業体験をユーモアを交え、「自産自消」を基本とした、「地産地消」、「国産国消」を推進して行くことを提案。人間らしく心豊かに生活するには、自分が好きなこと、ドキドキすることを仕事にするべきで、そのためには農業に関りつつカイナカで暮らす、「マイクロ農業」がぴったりであると話されました。

参加者からは、「楽しく聞くことが出来た。」「農業に興味を持った。家庭菜園を始めてみたい。」といったお言葉をいただきました。また、約8割の方が本シンポジウムに初めて参加されたことから、三富地域の農業に関心や親しむきっかけをつくることが出来ました。



講演中の森永卓郎氏

### 三富地域の平地林散策と 「さといも」収穫体験を開催しました。



令和4年11月23日(水・祝)に森のさんぽ道(川越市森林公園計画地)周辺で行いました。

当日は冷たい雨で足元が悪い中での実施でしたが、小さなお子さんも含め45名の方が参加されました。「かわごえ環境ネット」の方々から平地林の現状や、生態系の話の他、落ち葉堆肥を使う伝統農法で育てた「さといも」を収穫しました。参加者の皆さんは説明を熱心に聞き入るとともに、大きくて立派な「さといも」を一株まるごと掘り上げて非常に満足そうでした。

### 第16回「さんどめの木を いかす展」を開催しました。

令和4年11月26日(土)、27日(日)に、川越市の小江戸蔵里で、木を活用することで平地林が将来にわたって引き継がれる一助になればと、「さんどめの木をいかす会」の協力の下、開催しました。

当日は、木工ワークショップに約80人が参加するなど約400名に足を運んでいただきました。

参加者からは「子供が夢中になっている姿が見られてよかった。」「とても楽しく有意義な時間を過ごすことが出来た。」などのお声をいただきました。

作った作品は大切にお使いいただけると嬉しいです。



# 令和5年1月のイベントのお知らせ

## 角川武蔵野ミュージアムで植菌 'g(ショッキング)！ 小学生・中学生限定

午前は、角川武蔵野ミュージアムで「三富地域農業のお話」と、展示の見所などを紹介する「ミュージアム見学ツアー」を行います。

午後は、薪や炭として使われなくなり、高齢化してしまった平地林の木を使って、シイタケの植菌体験を行い、林を健全に保つためには、「木を伐って、使って、植えて、育てる」必要があることを学びます。

■日時 令和5年1月28日(土) ※雨天決行  
10:15～14:10(受付10:00～)

■集合 角川武蔵野ミュージアム(所沢市東所沢和田3-31-3)

■定員 30名 ※申し込み多数の場合は抽選

■費用 無料

■申込方法 **ハガキ、メール、FAXのいずれかで**

1月16日(月)までに、参加者の氏名、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス(持っている人のみ)、保護者氏名、保護者同伴の有無(小学生は保護者同伴必須)、保護者が同伴する場合は保護者のミュージアム入館の有無、同伴しない場合子供が参加することへの保護者の同意があることを明記して下記問い合わせ先まで。

■注意事項

植菌体験できる服装(汚れてもよい服装)、防寒着、軍手を用意してください。昼食は各自、サクラタウン等でお取りいただくか、お弁当を持参してください。ただし、ミュージアム館内でお弁当の飲食はできません。

※イベント中、マスクは必ず着用してください。

※保護者が「ミュージアムの見学ツアー」に同伴される場合はチケット代として別途1,200円かかります。(当日受付にて、お釣りが出ないようにお支払いください。)

※レクチャールームで行う、「三富地域農業のお話」に保護者が同行する場合、チケットの購入は不要です。ただし、チケットを購入しない場合の同伴は1名までとさせていただきます。



### スケジュール

10:00～10:15	受付
10:15～10:25	全体挨拶・ 注意事項説明
10:25～11:10	三富地域農業の お話
11:10～11:40	ミュージアム 見学ツアー
11:40～12:40	各自昼食休憩
12:40～14:10	植菌体験

## 第10回三富千人くず(落ち葉)掃き

体を動かすのが好きな方ならどなたでも。子供連れの家族の参加大歓迎！

くず(落ち葉)を集めて、たい肥化し、畑に撒く伝統農法「武蔵野の落ち葉堆肥農法」への理解を深め、緑豊かな地域を守り育てる活動の一環として、くず(落ち葉)掃きを体験します。

■日時 令和5年1月29日(日) ※雨天中止  
9:30～12:30(受付9:00～)

■集合 くぬぎ山地区の平地林

■定員 100名※申し込み多数の場合は抽選

■費用 無料

■申込方法 **ハガキ、メール、FAXのいずれかで**

1月16日(月)までに、参加者全員の氏名、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス(持っている人のみ)を明記して下記問い合わせ先まで。

■注意事項・持ち物

くず(落ち葉)掃きができる服装(汚れてもよい服装)、防寒着、マスク(作業時も着用)、軍手、タオル、飲み物。参加者には詳細な地図等を送付します。雨天中止の判断は1月27日に行います。中止する場合はホームページのほか、メール又は電話でもご連絡します。



### スケジュール

9:00～9:30	受付
9:30～9:45	開会式
9:45～11:45	くず掃き ※移動、休憩時間含む
11:45～12:15	たい肥場見学
12:15～12:30	閉会式



申込・問い合わせ先：川越農林振興センター管理部 三富農業・地域支援担当

〒350-1124 川越市新宿町1-17-17

TEL:049-242-1808 FAX:049-243-7233

e-mail:r4218103@pref.saitama.lg.jp

